


1. この情報は、国土地理院が7月11日に撮影した空中写真から、平成30年7月豪雨で生じたと考えられる崩壊地等を判読したものです。現地踏査は実施していないことから、実際に崩壊等のあった箇所でも表示できていない場合や、平成30年7月豪雨による崩壊地以外の箇所を表示している場合があります。

2. 崩壊地等は、崩壊地や土石流で生じた地形変化発生箇所(始点)から到達地点を表現しています。崩壊地等は、長さがおおむね50m以上のものを表しています。確認できた地形変化発生箇所(始点)付近を丸で表しており、地形変化範囲を線で表現しています。

3. 崩壊地等の位置を把握するための資料で、人家等に被害の無い箇所も表示しています。

0      0.5      1      1.5      2 km



<b>崩壊地等</b>	<b>雲による</b>	<b>判読範囲</b>
地形変化発生箇所(始点)	未判読範囲	
地形変化範囲		